

**里** 八金川でオオサンショウウオを発見  
山に生きる特別天然記念物

国の特別天然記念物オオサンショウウオが3月8日、八金川河川砂防工事現場で発見されました。オオサンショウウオは日本固有種で「世界最大の両生類」と呼ばれ、3000万年以上前からほとんどその姿を変えることなく生き続ける「生きた化石」。国の特別天然記念物、絶滅危惧II類に指定されています。今回発見された個体の大きさは体長74センチ、体重2750g。教育委員会と環境調査会社が計測し、発見現場よりやや下流に放流されました。



傷もなく元気な状態で発見されました



受賞された宇田川茜さんと戸田幸治代表

**地** 日本海新聞ふるさと大賞授賞式  
地域貢献の個人・団体を表彰

スポーツや文化活動を通じて、地域の振興に貢献された個人や団体を表彰する「日本海新聞ふるさと大賞」の表彰式が3月12日に行われました。

2012年の地域貢献賞は、60年以上にわたっててんぐ巣病枝を剪定するなど、法勝寺川土手の桜並木を守り続けている河畔倶楽部（戸田幸治会長、15人）、スポーツ功労賞は、幼少期からスキー競技に励み数々の大会で好成績を収めるとともに、空手競技においても鳥取県高校総体空手道個人組手で優勝するなど活躍中の宇田川茜さん（天萬）が受賞しました。坂本町長は「河畔倶楽部の皆さんにはボランティア活動で大変お世話になっている。宇田川さんには世界へ羽ばたく選手になってほしい」と、受賞者の功績をたたえました。

**こちら地域振興協議会**

あいみ富有の里

南さいはく

**賀野地区(富有の里)合同いきいきサロン交流**

賀野地域の集落単位で実施されている、いきいきサロン活動の交流会が2月3日、総合福祉センターいこい荘で約70名が参加し、賑やかに開催されました。

当日は、米子消防署員による地震や火災時に「自分の身は自分で守ろう」と題した講演を聞いた後、金田・浅井・朝金の代表者から日頃の活動状況について、今後の活動に参考となる発表がありました。高齢化社会を迎え、住み慣れた地域で高齢者が生きがいを持ちながら社会参加が図れるよう、地域振興協議会では、今後とも活動の支援を行っていきます。



活動報告の様子

**緑水湖桜ロード美化ボランティア**

2月24日に桜同好会が、緑水湖対岸の桜ロード美化作業を西部総合事務所県土整備局の補助事業で行いました。当日は交流事業を行っている明道公民館を始め、地域内外から57名のボランティアの参加がありました。

作業は道路沿いに落ちていた折れ枝の撤去と、桜の木に肥料を施肥するグループに分かれて作業を進めました。雪で根から倒れている枯れ松をチェーンソーで切断したり、地面が硬く施肥する穴が掘れなかったり、寒いみぞれ交じりの天候の中で大変でしたが、1時間半で作業を終了し、準備していたお弁当と豚汁で気持ちもお腹も満腹になりました。春には、緑水湖畔の桜がきれいに咲きますので、ぜひ花見においで下さい。



作業前の会長挨拶